

# あけぼの

## 戦争の事実を共に受け止めて

…これから先、世界が平和になるために、私たちができることは何でしょうか。それは、原爆や戦争、世界の国々や歴史について学ぶこと、けんかやいじめを見過ごさないこと、大好きな絵や音楽やいろいろな国の言葉で、世界の人たちに思いを伝えること。今の私たちにできることは、小さな一歩かもしれませんが、私たちは、決してあきらめません。話し合いで争いを解決する、本当の勇気を持つために、…

(平成21年「平和への誓い」より)

これは、毎年8月6日に行われている広島平和記念式典の「平和への誓い」で述べられた、小学6年

生の言葉です。かつての原爆や戦争による惨禍を、今を生きる自分たちにつながる問題として考え、世界に向けて平和へのメッセージを伝えています。

今年2月、ロシアがウクライナに侵攻しました。ミサイルによって破壊されていく町や、攻撃におびえ避難する人々の姿が何度も報じられました。ロシアやウクライナの人だけでなく、世界中の人々が衝撃を受け、心を痛めています。しかし、「早く平和になってほしい」と願っている私たちも、心のどこかで、「遠く離れたところで起きている、私たちとは直接関係のない出来事」と思ってしまうてはいないでしょうか。

今回のあけぼのでは、命が奪われ、人権が侵されるという戦争の事実を共に受け止めて、今を生きる私たちの暮らしや社会を見つめ直し、これからどのような自分でありたいか、どのような社会を築いていきたいのかを、共に考えていきたいと思えます。

### 人権コラム

### 戦争と平和から 人権を考える

津市では、非核三原則を遵守し核兵器の廃絶と軍備の縮小を全世界に強く訴えるとともに、世界の恒久平和と人類の安全を願い、「非核・平和都市」を宣言しています。戦争の悲惨さを認識し、平和の尊さを次世代に語り継ぎ、伝えていくことを目的として、毎年7月15日から8月15日を「平和を考える月間」として定めています。

この期間中には「平和を考える市民のつどい」で戦争に関する映画の上映をするとともに、市民の皆さんから募集した折り鶴を千羽鶴として展示し、展示後は広島平和記念公園内の原爆の子の像に捧げます。他にも「原爆パネル展」や「津平和のための戦争展」「平和のための音楽会」を開催します。

また、香良洲歴史資料館では、市内の戦災被害、戦時下の市民生活に関わる資料などを展示しています。風化しつつある戦争の惨禍を次世

代に伝え継ぐとともに、命の尊さや平和の大切さを考えることができる場であり、東海地方でも数少ない戦争と平和をテーマとした施設です。

これらの戦争の記憶は過去の出来事で収まりません。私たちは誰もが皆幸せに生きていく権利を持っています。しかし、世界では、自分とは異なる価値観や考えの人を排除したり排斥したりすることによる差別や偏見が、紛争にまで至ってしまっている現実があります。私たち一人一人が差別や偏見について、気づき、考え、対話を通して相手を理解しようとするのが、平和な社会を構築していく第一歩ではないでしょうか。



津市ではウクライナへの人道支援を目的として、市内12カ所に募金箱を設置しています。寄せられた募金は、国連UNHCR協会へ送られます。